

「自転車の活用・安全利用」についてのアンケート結果

滋賀県では、平成28年2月に「滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を、令和元年12月に「滋賀県自転車活用推進計画」を定めました。

このたび、今後の自転車関連施策の参考とするため、「自転車の活用・安全利用」についてのアンケートを実施しました。

★調査時期:令和3年11月

★対象者:県政モニター298人

★回答数:242人(回収率81.2%)

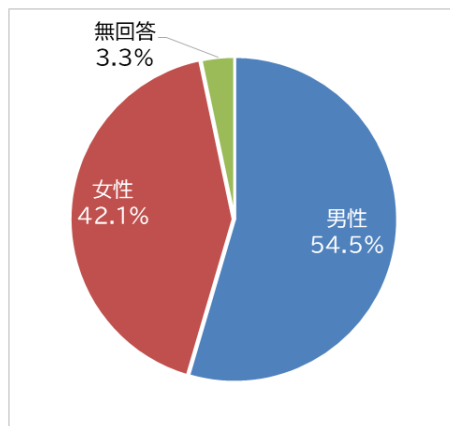
★担当課:土木交通部道路保全課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

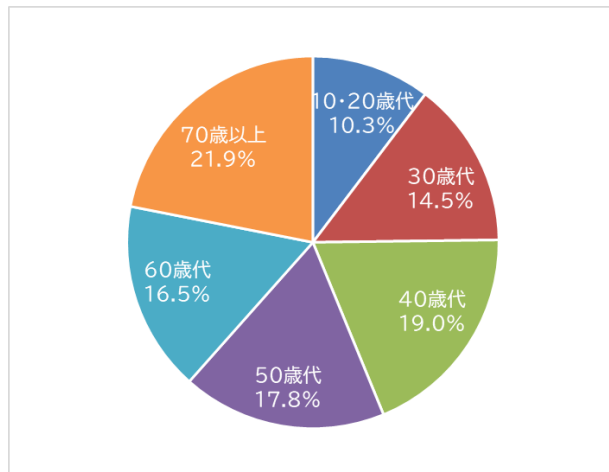
◆性別

項目	人数(人)	割合
男性	132	54.5%
女性	102	42.1%
無回答	8	3.3%
合計	242	100.0%



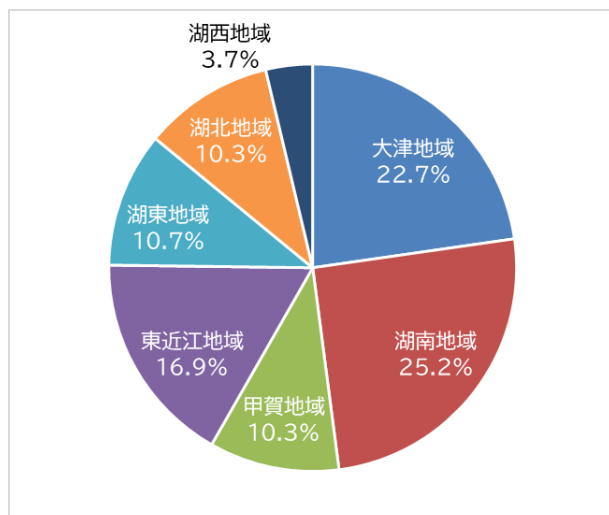
◆年代

項目	人数(人)	割合
10・20歳代	25	10.3%
30歳代	35	14.5%
40歳代	46	19.0%
50歳代	43	17.8%
60歳代	40	16.5%
70歳以上	53	21.9%
合計	242	100.0%



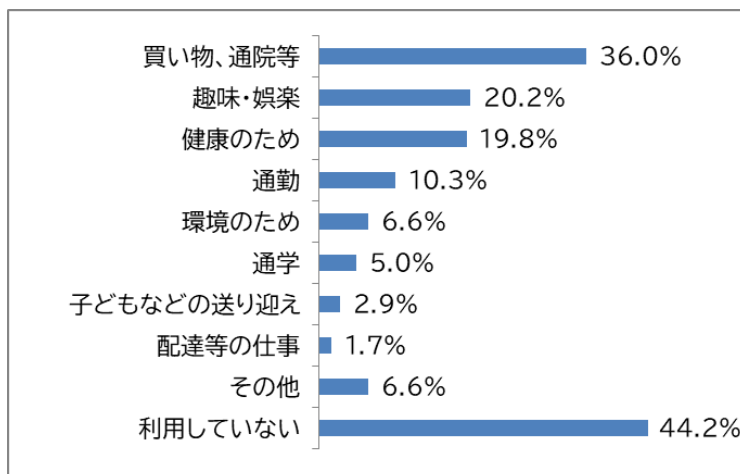
◆地域

項目	人数(人)	割合
大津地域	55	22.7%
湖南地域	61	25.2%
甲賀地域	25	10.3%
東近江地域	41	16.9%
湖東地域	26	10.7%
湖北地域	25	10.3%
湖西地域	9	3.7%
合計	242	100.0%



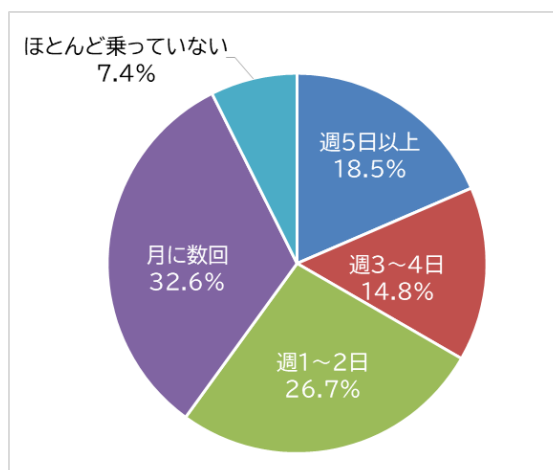
問1 あなたは、どのような目的で自転車を利用しますか。(「利用していない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=242)

項目	人数(人)	割合
買い物、通院等	87	36.0%
趣味・娯楽	49	20.2%
健康のため	48	19.8%
通勤	25	10.3%
環境のため	16	6.6%
通学	12	5.0%
子どもなどの送り迎え	7	2.9%
配達等の仕事	4	1.7%
その他	16	6.6%
利用していない	107	44.2%



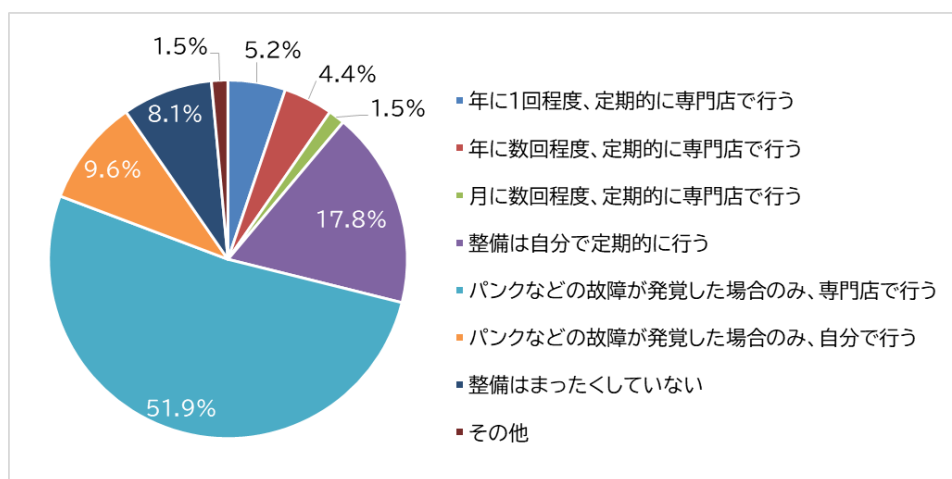
問2 問1で「利用していない」以外を選択された方にお尋ねします。自転車をどのくらいの頻度で利用していますか。(回答チェックは1つだけ n=135)

項目	人数(人)	割合
週5日以上	25	18.5%
週3~4日	20	14.8%
週1~2日	36	26.7%
月に数回	44	32.6%
ほとんど乗っていない	10	7.4%
合計	135	100.0%



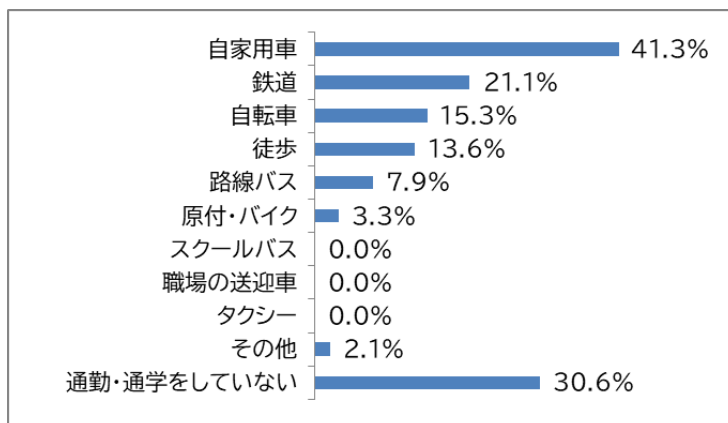
問3 問1で「利用していない」以外を選択された方にお尋ねします。あなたの所有(または家族等で共有)している自転車をどの程度の頻度で整備・点検していますか。(回答チェックは1つだけ n=135)

項目	人数(人)	割合
年に1回程度、定期的に専門店で行う	7	5.2%
年に数回程度、定期的に専門店で行う	6	4.4%
月に数回程度、定期的に専門店で行う	2	1.5%
整備は自分で定期的に行う	24	17.8%
パンクなどの故障が発覚した場合のみ、専門店で行う	70	51.9%
パンクなどの故障が発覚した場合のみ、自分で行う	13	9.6%
整備はまったくしていない	11	8.1%
その他	2	1.5%
合計	135	100.0%



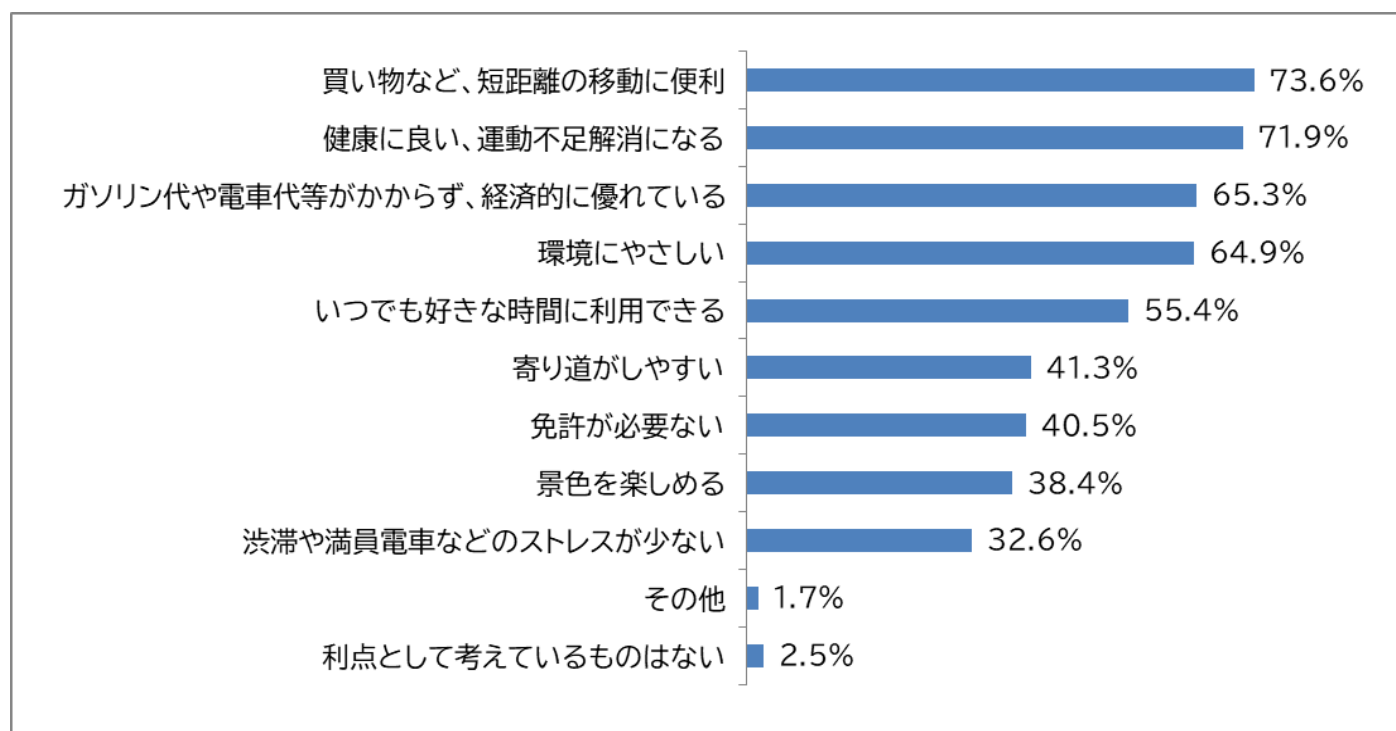
問4 自宅から職場又は学校までの交通手段を教えてください。(「通勤・通学をしていない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=242)

項目	人数(人)	割合
自家用車	100	41.3%
鉄道	51	21.1%
自転車	37	15.3%
徒歩	33	13.6%
路線バス	19	7.9%
原付・バイク	8	3.3%
スクールバス	0	0.0%
職場の送迎車	0	0.0%
タクシー	0	0.0%
その他	5	2.1%
通勤・通学をしていない	74	30.6%



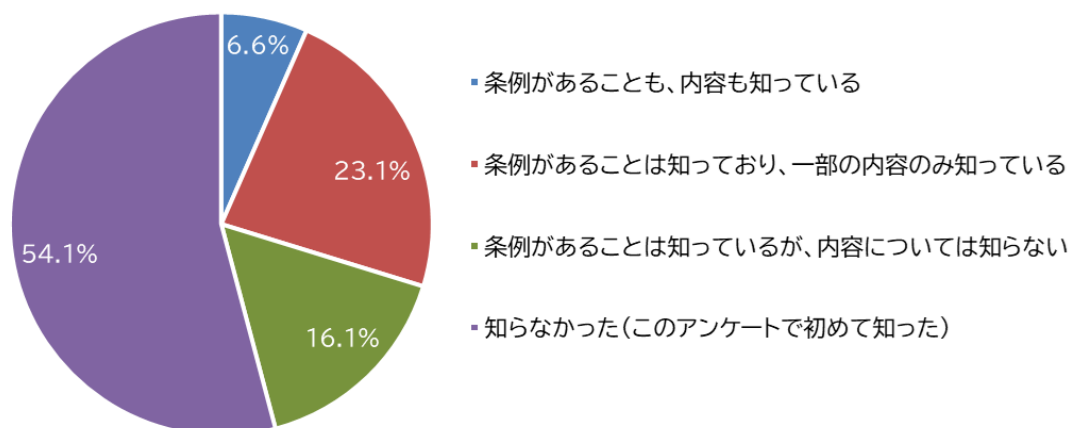
問5 自転車の利点として知っているものを教えてください。(「利点として考えているものはない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=242)

項目	人数(人)	割合
買い物など、短距離の移動に便利	178	73.6%
健康に良い、運動不足解消になる	174	71.9%
ガソリン代や電車代等がかからず、経済的に優れている	158	65.3%
環境にやさしい	157	64.9%
いつでも好きな時間に利用できる	134	55.4%
寄り道がしやすい	100	41.3%
免許が必要ない	98	40.5%
景色を楽しめる	93	38.4%
渋滞や満員電車などのストレスが少ない	79	32.6%
その他	4	1.7%
利点として考えているものはない	6	2.5%



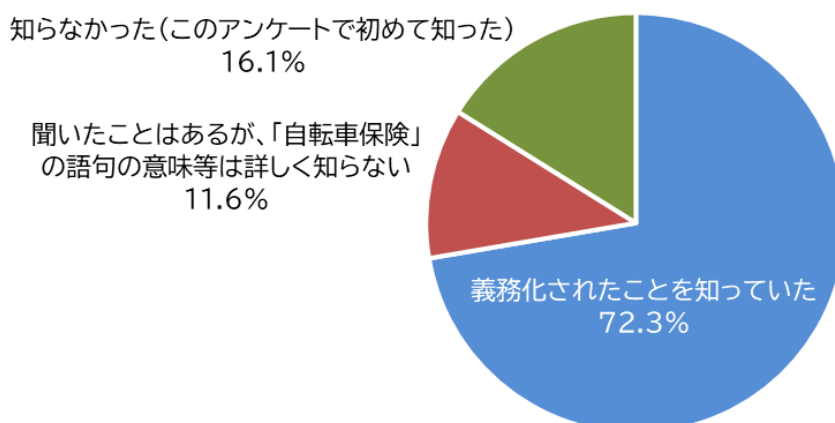
問6 あなたは、「滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=242)

項目	人数(人)	割合
条例があることも、内容も知っている	16	6.6%
条例があることは知っており、一部の内容のみ知っている	56	23.1%
条例があることは知っているが、内容については知らない	39	16.1%
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	131	54.1%
合計	242	100.0%



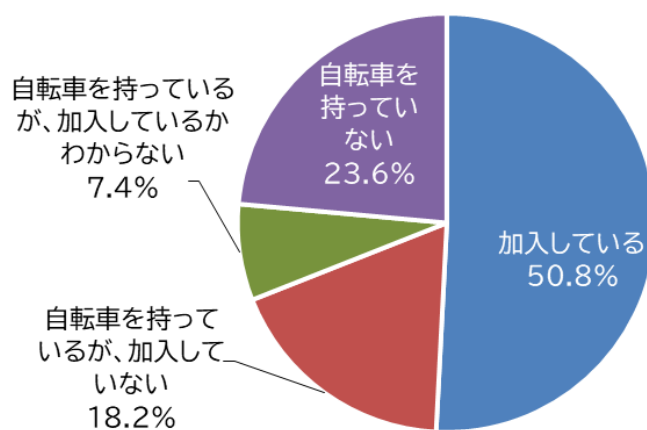
問7 滋賀県では、「滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」で、自転車保険の加入が義務化(平成 28 年 10 月 1 日施行)されたことを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ n=242)

項目	人数(人)	割合
義務化されたことを知っていた	175	72.3%
聞いたことはあるが、「自転車保険」の語句の意味等は詳しく知らない	28	11.6%
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	39	16.1%
合計	242	100.0%



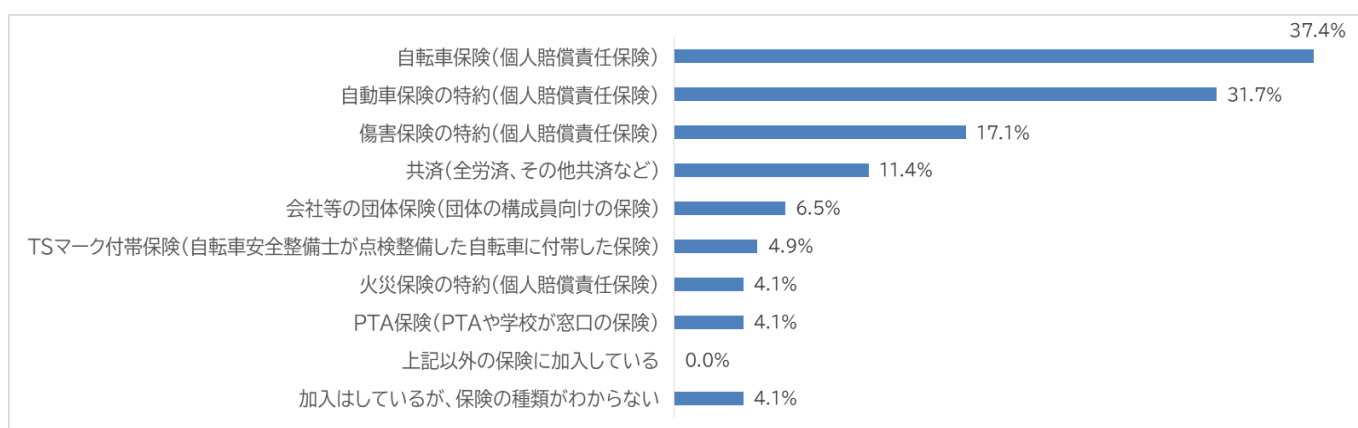
問8 自転車運転中の加害事故の被害者に対する賠償に備えた保険に加入していますか。(回答チェックは1つだけ n=242)

項目	人数(人)	割合
加入している	123	50.8%
自転車を持っているが、加入していない	44	18.2%
自転車を持っているが、加入しているかわからない	18	7.4%
自転車を持っていない	57	23.6%
合計	242	100.0%



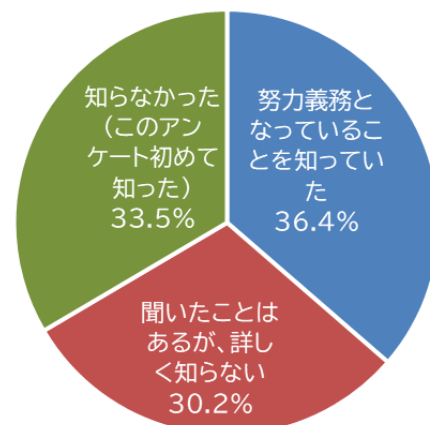
問9 問8で「加入している」を選択された方にお尋ねします。加入している保険の種類は何ですか。（「加入はしているが、保険の種類がわからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=123）

項目	人数(人)	割合
自転車保険(個人賠償責任保険)	46	37.4%
自動車保険の特約(個人賠償責任保険)	39	31.7%
傷害保険の特約(個人賠償責任保険)	21	17.1%
共済(全労済、その他共済など)	14	11.4%
会社等の団体保険(団体の構成員向けの保険)	8	6.5%
TSマーク付帯保険(自転車安全整備士が点検整備した自転車に付帯した保険)	6	4.9%
火災保険の特約(個人賠償責任保険)	5	4.1%
PTA保険(PTAや学校が窓口の保険)	5	4.1%
上記以外の保険に加入している	0	0.0%
加入はしているが、保険の種類がわからない	5	4.1%



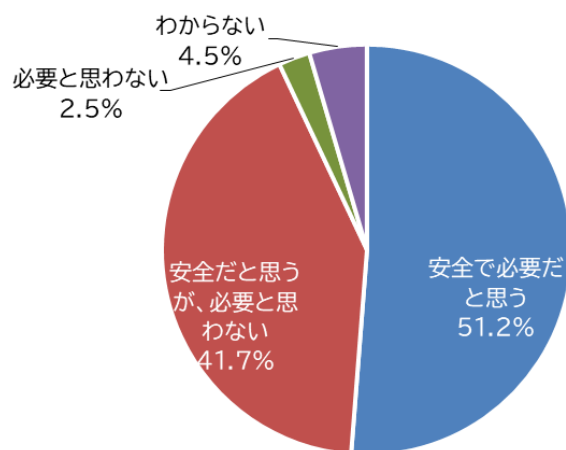
問10 「滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」で、保護者が幼児・児童・生徒が自転車に乗車する時は、ヘルメットを着用させることが努力義務になったことを知っていましたか。（回答チェックは1つだけ n=242）

項目	人数(人)	割合
努力義務となっていることを知っていた	88	36.4%
聞いたことはあるが、詳しく知らない	73	30.2%
知らなかった(このアンケート初めて知った)	81	33.5%
合計	242	100.0%



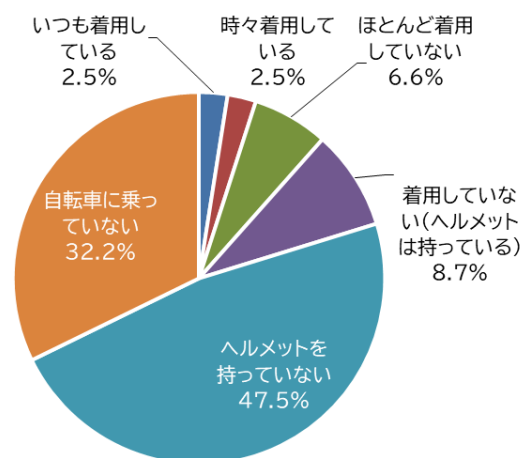
問 11 あなたは、自転車に乗る時、ヘルメットを着用することは安全で必要だと思いますか。(回答チェックは1つだけ n=242)

項目	人数(人)	割合
安全で必要だと思う	124	51.2%
安全だと思うが、必要と思わない	101	41.7%
必要と思わない	6	2.5%
わからない	11	4.5%
合計	242	100.0%



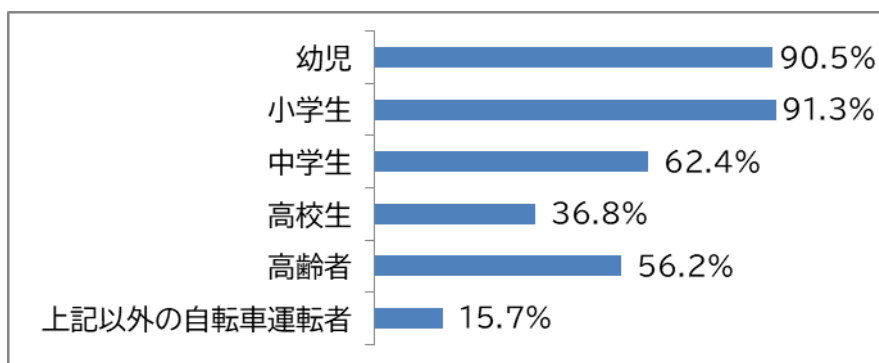
問 12 あなたは自転車に乗る時ヘルメットを着用していますか。(回答チェックは1つだけ n=242)

項目	人数(人)	割合
いつも着用している	6	2.5%
時々着用している	6	2.5%
ほとんど着用していない	16	6.6%
着用していない(ヘルメットは持っている)	21	8.7%
ヘルメットを持っていない	115	47.5%
自転車に乗っていない	78	32.2%
合計	242	100.0%



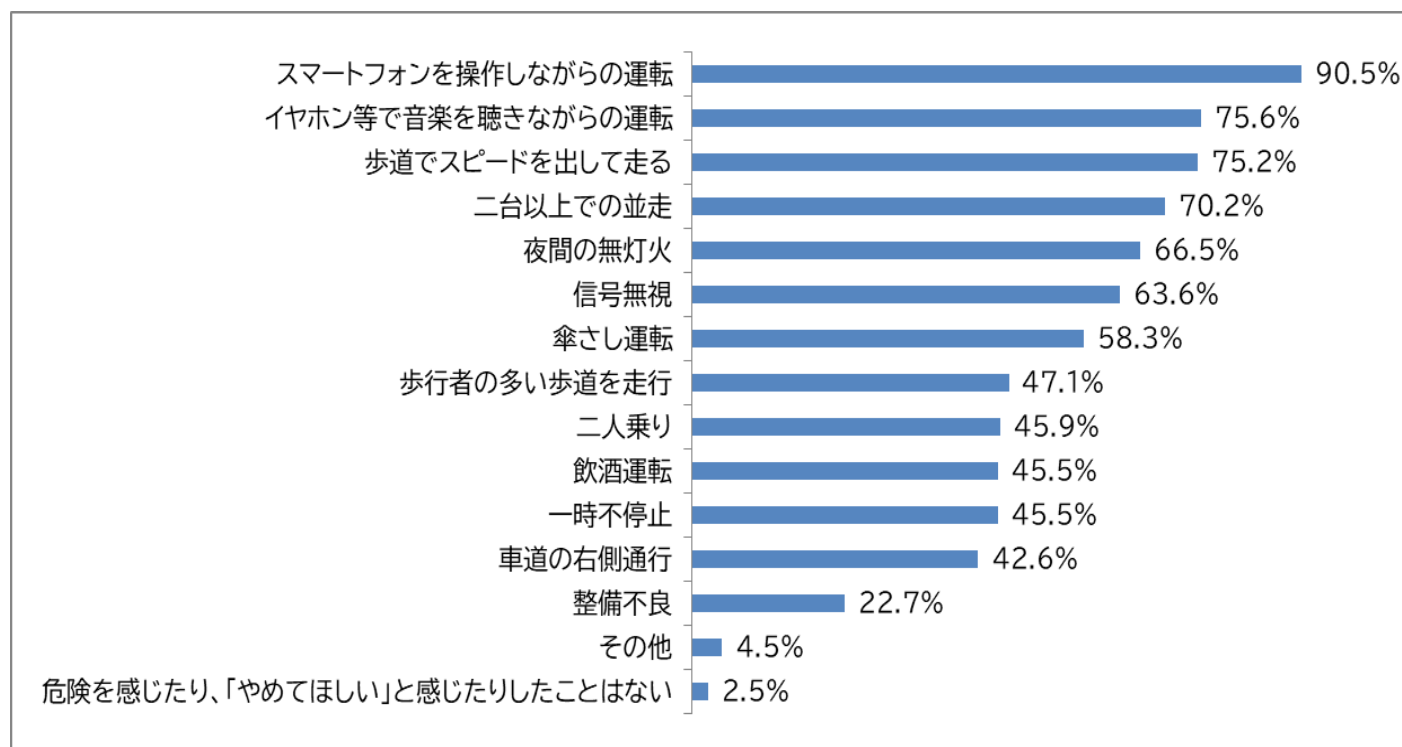
問 13 自転車に乗る際にヘルメットを着用した方がよいと考えるのはどのような人ですか。(回答チェックはいくつでも n=242)

項目	人数(人)	割合
幼児	219	90.5%
小学生	221	91.3%
中学生	151	62.4%
高校生	89	36.8%
高齢者	136	56.2%
上記以外の自転車運転者	38	15.7%



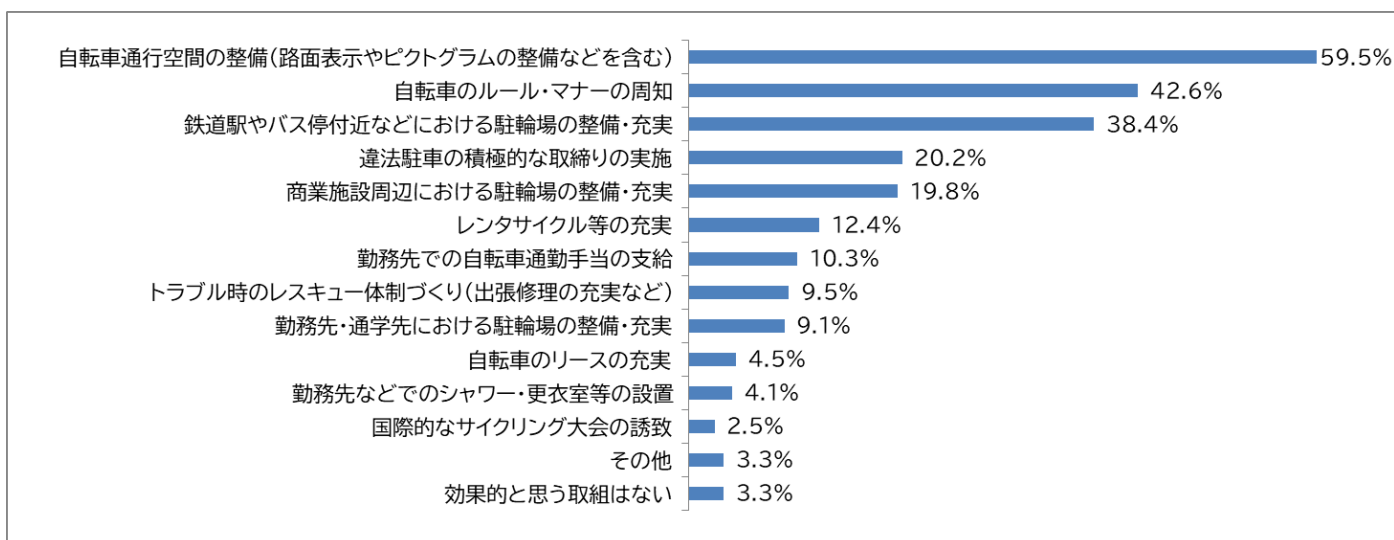
問 14 あなたは、他人のどのような自転車運転で危険を感じたり、「やめてほしい」と感じたりしますか。（「危険を感じたり、「やめてほしい」と感じたりしたことはない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=242）

項目	人数(人)	割合
スマートフォンを操作しながらの運転	219	90.5%
イヤホン等で音楽を聴きながらの運転	183	75.6%
歩道でスピードを出して走る	182	75.2%
二台以上での並走	170	70.2%
夜間の無灯火	161	66.5%
信号無視	154	63.6%
傘さし運転	141	58.3%
歩行者の多い歩道を走行	114	47.1%
二人乗り	111	45.9%
飲酒運転	110	45.5%
一時不停止	110	45.5%
車道の右側通行	103	42.6%
整備不良	55	22.7%
その他	11	4.5%
危険を感じたり、「やめてほしい」と感じたりしたことはない	6	2.5%



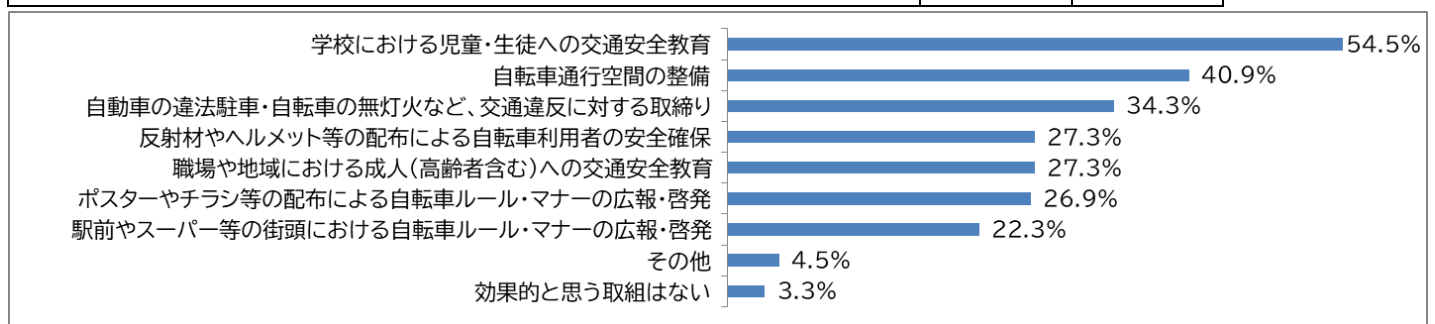
問15 自転車の利用を促進するには、どのような取組が効果的だと思いますか。(「効果的と思う取組はない」を選択した場合を除き、回答チェックは3つまで n=242)

項目	人数(人)	割合
自転車通行空間の整備(路面表示やピクトグラムの整備などを含む)	144	59.5%
自転車のルール・マナーの周知	103	42.6%
鉄道駅やバス停付近などにおける駐輪場の整備・充実	93	38.4%
違法駐車の積極的な取締りの実施	49	20.2%
商業施設周辺における駐輪場の整備・充実	48	19.8%
レンタサイクル等の充実	30	12.4%
勤務先での自転車通勤手当の支給	25	10.3%
トラブル時のレスキュー体制づくり(出張修理の充実など)	23	9.5%
勤務先・通学先における駐輪場の整備・充実	22	9.1%
自転車のリースの充実	11	4.5%
勤務先などでのシャワー・更衣室等の設置	10	4.1%
国際的なサイクリング大会の誘致	6	2.5%
その他	8	3.3%
効果的と思う取組はない	8	3.3%



問16 自転車の交通安全を促進するには、どのような取組が効果的だと思いますか。（「効果的と思う取組はない」を選択した場合を除き、回答チェックは3つまで n=242）

項目	人数(人)	割合
学校における児童・生徒への交通安全教育	132	54.5%
自転車通行空間の整備	99	40.9%
自動車の違法駐車・自転車の無灯火など、交通違反に対する取締り	83	34.3%
反射材やヘルメット等の配布による自転車利用者の安全確保	66	27.3%
職場や地域における成人(高齢者含む)への交通安全教育	66	27.3%
ポスターやチラシ等の配布による自転車ルール・マナーの広報・啓発	65	26.9%
駅前やスーパー等の街頭における自転車ルール・マナーの広報・啓発	54	22.3%
その他	11	4.5%
効果的と思う取組はない	8	3.3%



- 問17 その他、自転車利用について御意見等がありましたらお聞かせください。(400字以内・任意 抜粋)
- 小中学生が車の交通ルールを、ある程度理解しておくべき。その上でルールの守る努力をするよう周知した方が、小中学生への車に対しての注意喚起にもなり、交通ルールの違反による事故が減ると思います。
 - 2年ほど前に、自転車走行中に歩行者へ衝突し大きな怪我には至りませんでした。自転車の有難みを身に染みて感じました。家族から自転車に乗るなら必ず加入すべきとの意見をもらい、従って手続きをしてにおいて本当に良かったと痛感しました。乗り手からすると、状況によっては必要以上のスピードが出ている場面もあり歩行者にとっては怖いと感じる事も多々あると思います。ただ誰もが簡単に乗れるだけに、なかなか危険性を理解・把握するまでには至っていない場合が多いと思います。各学校単位で、毎年一定時間を取って安全運転講習会を実施する必要はあると思います。と同時に歩道とは別スペースで自転車専用レーンを設ける環境整備も併せて重要。
 - かっこいい自転車を颯爽と乗りこなしている大人の人を車の運転中によく見かけますが、追い越しはしにくく車の運転のしにくさを感じます。歩道でも車道でもない自転車専用通路があると安心なのだと思います。長男が来年高校生になる予定なのですが、利用したいバス停が徒歩で行ける範囲にはなく、バス停に駐輪場もないようで、どうしようか困っています。バス停付近の駐輪場は必要だと感じます。わが家の学区の小学生にはヘルメットをかぶる習慣がないのですが、団地内で小学生の自転車は怖いことも多いので、学校からも自転車に乗る時のヘルメットは必須だと言ってもらえる方がありがたいと思います。
 - 駐輪場の整備を積極的にすると良いと思う。
 - 今更であるが、地球に優しいと言う意識を皆が持つ事が大事、自転車利用促進はその目的に果たすのに最適である。
 - 自転車利用者の登録制度を実施する。新規購入の場合、利用者登録を義務づける。転売した場合など、利用者が変わる場合、登録者が必ず、次の利用者を登録する。
 - 自転車通学OK地域からの登校(猛暑のなかヘルメット着用)は、大変だと思います。学校近くまで、ヘルメットを前かごに入れている中学生が、殆んどだと思いますが、着用を強制する以前に、おしゃれをしたいお年頃を考慮したヘルメットを、考案し愛着してほしいと考えます。
 - 高齢者の利用はかなり危険だと思う。ヘルメットの着用を義務付けてほしい。
 - 自転車利用のルール・マナーが悪い人が多いため、警察官等に注意された人に対し、自動車の運転と同様に交通安全教育が必要だと思います。
 - 後ろを見ずに、斜め横断は止めて欲しいです。
 - 自転車の乗る方も自動車の運転手も双方が怖いと感じていると思う。残念ながら、自転車だけでなく、歩行者に対しての道路整備が進まなければ、若しくは自動車の利用制限がなければ、危険性が多いと思う。自転車が乗りやすいということは交通弱者に優しい街だと思いますが、残念ながら全国の多くは該当しない。
 - 自転車の反対車線の路肩での逆走が危険に感じます。特に警察が巡回中に見つけた場合は嚴重注意か取締強化を希望します。
 - 自転車は軽車両だと知らない人が多過ぎると思います。子どもらは学校や家庭でルールをきちんと学びますが、大人はルール無視の無茶な運転をしがちなので、地域や職場で大人向けに講習の機会があってもいいと思います。
 - 自転車は車である。免許制度がないのはおかしい。車である以上、車と同程度のルールを課すべきで、違反の場合は車と同程度の罰則を科すべきである。又、自転車はどの道を通れるのか、認識されていない。たとえば、歩行者専用の信号で青の場合、自転車は車と同様に渡るのを待つべきと思うが、渡る自転車もあれば、待つ自転車もある。又、自転車は歩道を通って良いのか、道の端を通るべきか。社会のルールが未確定である。

- 自転車利用を推進するのは環境面でもよいことだと思います。滋賀県でもレンタル自転車が駅や観光地など主要な場所にあり、学生にはリースもあればいいと思う、通学時間帯は安全確保策が必要。高齢者の自転車での怪我が多いと思う、自転車選び、自転車の性能について知識が必要。体力に合った自転車の選び方のアドバイスとか、買い物が持ち帰るのに自転車では無理な場合はどうして運ぶとか、路線バスを使って乗客の少ないときに荷物を最寄りのバス停の近くまで運んで保管でき、受け渡しできるような仕組みがあれば良いと思います。
- 道路の左側に駐車されており、その左側が通れなくて車の右側(道路の中央近く)を通らなければならないことがあるので、自転車が通れる幅を残して駐車して頂ければありがたい。
- 車に対しては、人に危害を加えるという意識がありますが、自転車となるとあまり考えていない人が多いと思います。自転車が引き起こす危険な事例について、より多くの人々が認識し、気を引き締めることが必要かと思います。
- 30数年前、子供たちが「ビワイチ」で2日かけて琵琶湖を一周したことがあった。その時は、琵琶湖を一周するのはかなり大変だったが、最近の「ビワイチ」ブームのおかげで自転車通行道路がかなり整備されたと思います。自動車で「彦根～湖西(北回り)」や「彦根～琵琶湖大橋～湖西(南周り)」をすると、その整備状況がよくわかり、滋賀県が「ビワイチ」を推奨していることが一目瞭然であると思います。これからもよろしく願います。
- 自動車教習所に行っはじめて、自動車運転のルール、どういう判断や都合で運転しているのか、自動車運転者から自転車がどのように見えているのか(見えていないのか)を知りました。自動車免許を持っていない自転車ユーザーの人たちにも、そういったことを教える機会があれば、事故はより防げるのではないかと思います。
- 特に「ながら運転」が多くなっているのが危険を感じる、スマホしか見えていない、イヤホンを耳に装着したまま、学生が2列、3列になって走行している。今まで、警察官が「ながら運転」を注意・指導している現場を見たことが無いので、皆さんは「誰も注意しない」=好き勝手に運転しても大丈夫と思っているのでは？子供達の登下校時の見守りをしていた高齢者に「ながら運転」の自転車が衝突、高齢者はその後寝たきり状態になったと新聞で読んだ記憶が有ります、被害に合った方も悲惨な事になって苦しんでいると思いますし、ぶつけた運転手も非常に高額な医療費、補償を負担することになり、保険に入らなかった場合はその方の家族が大変な事態に苦しんでいると想像します。性善説だけで「安心・安全」を確保するのはこの時代特に難しいのではと、公的な機関の指導、違反摘発、罰金・処罰などが必要では？
- 自転車を漕ぐのは体力がいる。老人が乗って、体力向上につながる取り組みがあっても良いと思う。買い物難民も減る事に繋がる。そのため、老人向け自転車の普及が必要。電動自転車とか、三輪自転車はとても老人向けに良いと思う。